

第5回 ふるさと高原山を愛する集い 実施報告書



開催日：平成29年10月29日(日)

開催場所：玉生運動広場

ふるさと高原山を愛する集い実行委員会

祝「山の日」制定 ふるさと高原山を愛する集い

～ふるさとを思い、高原山麓での保全活動をみんなで考えよう～

期日：平成29年10月29日（日）

場所：玉生運動広場（旧玉生中学校グラウンド）

主催：ふるさと高原山を愛する集い実行委員会

共催：塩谷町

後援：一般財団法人全国山の日協議会、矢板市、日光市、那須塩原市、
塩那森林管理署

協賛：とちぎ音の会、ふんちく



山と川と海は、人が利用するにあたって適切な保全管理があってこそ、はじめて良好な環境が得られるといわれています。“高原山”は栃木県塩谷町の基本構想にシンボルとうたわれているように、住民にとって心の支えであるとともに、水やおいしい空気、大地の恵みなどを供給しています。私たちには“高原山”の素晴らしい自然を次世代に継承していく責務があります。

当会名誉顧問の故船村徹先生は「山の日」の制定にご尽力され、昨年8月11日が国民の祝日「山の日」となりました。「山の日」の意義は『山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する』とされています。本日までご参加いただいた皆様方とともに、ふるさと“高原山”への思いと「山の日」の意義を共有したいと存じます。



プログラム

11:00～	開会、あいさつ	見形和久会長 全国山の日協議会、来賓代表
11:20～	船村徹先生追悼 スペシャルステージ	「故郷の山が見える」 歌手 えひめ憲一さん 「故郷の山が見える」等 スペシャルメドレー熱唱 男性ギターDuo とちおとめさん 「別れの一本杉」、「王将」、 「みだれ髪」等演奏
～12:05	情報提供	冊子「船村徹先生の想いをつなぐ」の紹介 市川貴大事務局長
12:05～	点火！	バーベキュー開始、エコストップによる釜飯の試食等
12:30～	お楽しみステージ	「きたかん音頭」 イシワロシアとそだんべくらぶさん 「オカリナ演奏」 オカリナアンサンブルしおやさん 「下野不動太鼓」 下野不動太鼓保存会さん
13:30～	クイズ大会	全員参加で高原山のクイズに挑戦しよう！
13:50～	緑化推進	「緑豊かな郷土づくりをめざして」 マロニエメイツのみなさん
～14:00	閉会	谷畑方夫副会長 ※苗木(ロウバイ、ヤマグリ)の配布 塩谷町緑化推進委員会

故郷の山が見える

木下 龍太郎 作詞

船村 徹 作曲 丸山 雅仁 編曲

鳥羽 一郎 唄

一

いちど東京へ 行くと言いながら
いつも口だけで ひとり野良仕事
老けたおふくろの やせたあの肩を
さすってあげたい
峠 越えれば 俺のふるさと
山が見えてくる

♪

ふるさとの山に向かいて 言うことなし
ふるさとの山は ありがたきかな (石川啄木詩集)

二

けんかしたけれど 何故か気があつて
どこへ行くんだと 泣いてくれたやつ
月の縁側で 馬鹿を言いながら
ふたりで呑みたい
幼なじみと共に遊んだ
山が見えてくる

三

村を出るときは ひとり踏切で
汽車が消えるまで 背伸びしていた娘
町へ嫁に行き 母となつたいま
しあわせだろうか
恋を失くした 遠いあの日の
山が見えてくる

参加者一人一人がボランティア！ 準備・片付け等ご協力をお願いします！

第2回「山の日」記念全国大会連携イベントとして開催します

ふるさと高原山を愛する集い
 ～ふるさとを思い、高原山麓での保全活動をみんなで考えよう～

ふるさと高原山を愛する集い実行委員会 市川 貴大

第5回ふるさと高原山を愛する集いを平成29年10月29日（日）に玉生運動広場にて開催するために例年以上に検討を重ねてまいりましたが、台風22号の接近により、催し物は中止とし、当日は食材や冊子等の配布を旧玉生中学校体育館にて実施しましたので、報告いたします。

ふるさと高原山を愛する集い実行委員会による事前打ち合わせ

船村徹先生が2017年2月16日にご逝去されました。今年こそは船村徹先生をお呼びしようと実行委員会の中で話し合っていただけに、本当に残念なことでした。

そこで、今年ふるさと高原山を愛する集いは実行委員でできる範囲内での追悼をしようということになり、準備を開始しました。ただし、町主催の船村徹先生追悼式典（仮称）との兼ねあいで数か月程度連携の可否について検討したうえで、別々に開催することとなり、募集を1か月程度遅らせました。プレスリリースは9月12日に行い、記者の皆様にご対応いただきました。今年はこれまでの参加者にチラシを郵送でお送りしたところ、反響良く、会長の努力もあり、一般申込が83セットになりました。

表 ふるさと高原山を愛する集い実行委員会による事前準備

年月日	参加者数	場所	内容
2017年3月19日	8名	星ふる学校 「くまの木」	・第4回の実施を確認 ・バーベキューの実施 ・山開き、ハイキング、写真展の検討
2017年4月23日	11名	星ふる学校 「くまの木」	・集いの実施方法の確認 ・山開きについて ・サクラ植樹について
2017年5月20日	9名	上寺島 活性化施設	・サクラ植樹について ・写真展について ・第2回「山の日」記念全国大会連携イベント助成金採択
2017年6月24日	7名	上寺島 活性化施設	・集いの単独実施の決定 ・集いの具体的検討・出演者への打診 ・写真展について
2017年7月29日	11名	道の駅湧水 の郷しおや 交流館	・出演者の決定・後援の打診について ・ハイキングの検討状況 ・高木響正アドバイザーによる講演
2017年8月27日	13名	上寺島 活性化施設	・来賓の打診、冊子の作成について ・地域商品研究について ・ハイキングについて
2017年9月30日	10名	上寺島 活性化施設	・来賓、バーベキューセット、会場の確認 ・申し込みは30.5セット。チラシの郵送は効果あり。 ・練習を行う、前日・当日の確認
2017年10月28日	12名	玉生 運動広場	・緊急ミーティング、催しもの中止決定 ・すべての参加者に電話連絡 ・配布資料・お茶の仕分け準備

高原山山開き

今年は第2回「山の日」記念全国大会が栃木県那須町にて開催されることから、連携イベントとして、高原山を愛する集いをはじめ、高原山山開き、ハイキングや写真展、登山道のササ刈り等も実施しましたので、ご紹介します。

尚仁沢は一とらんどから西平岳登山口付近まで塩谷町のバスにて3回に分けて移動しました。

受付では、缶バッジや尚仁沢は一とらんどで使える500円券等を参加者46名に配布しました。

尚仁沢は一とらんど6:40発は市川貴大、7:20発は青木修司、8:00発は倭文廣が班長となって3班集体で釈迦ヶ岳をめざしました。前山手前と釈迦ヶ岳手前の上り、西平岳登山口までの下りは休憩をこまめにいれたところ、3班とも脱落者がでませんでした。釈迦ヶ岳山頂では、3班が合流した時点で、見形和久会長から「登山道の整備をぜひ続けてほしい」、また、倭文隊長から「①素晴らしい山頂からの景色を見てもらいたい、②尚仁沢は一とらんどを活用しよう、③最終処分場問題への反対運動について理解してほしい」というあいさつをいただいた後、「山の日」PRを兼ねた記念撮影を行いました。下山後、尚仁沢は一とらんどでは44枚（利用率91.7%）が使われ、ジェラートや飲み物等を堪能されていました。



写真展 高原山の四季

私たちの心の拠り所である高原山麓で写した素晴らしい写真やメッセージを尚仁沢は一とらんど2Fにて、7月15日（土）～8月12日（土）まで展示しました。

写真展は、しおや写真サークル「あそぼ」の関連する方々11名から出品され、35点を展示されました。また、「山の日」PRということで、ポスター、チラシの展示、日本山岳ガイド協会発行の安全登山ハンドブックの配布なども実施しました。今年は反響も良く来場者名簿に53名の方に記帳いただきました。



イヌブナ自然林ハイキング

ふるさと高原山を愛する集い実行委員会主催、塩谷町共催、一般財団法人全国山の日協議会が後援の「イヌブナ自然林ハイキング」が9月30日（日）に開催され、28名が参加しました。

宇都宮大学谷本丈夫名誉教授からイヌブナが群生する場所にて、長い年月にわたり保全されてきた背景等について解説をいただきました。そして、



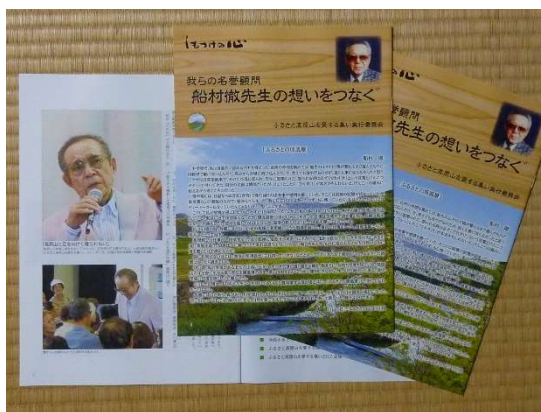
イヌブナをバックに参加者の皆様とともに、「山の日」の横断幕を掲示し、アピール活動を行いました。

今回のコースは何度も下見を行い、なるべく問題の発生しないルートにて実施しました。一部沢を下る部分がありますが、参加者の皆様ほぼ問題なく下ることができました。

冊子『船村徹先生の想いをつなぐ』を作成

船村徹先生を追悼するため、雑誌「しもつけの心」にて船村徹先生に捧げた文章をはじめ、当会副会長で船村徹先生の同級生でもある谷畑方夫さんの道の駅湧水の郷しおやでの「船村徹ふるさと会コーナー」などの取組についての紹介、ふるさと高原山を愛する集い当日のパフレットを冊子としてまとめました。

当冊子は、バーベキュー申込者に配布後、道の駅湧水の郷しおやの船村徹ふるさと会コーナーにて配布したところ、予想をはるかに上回る反響となり、改めて船村徹先生の偉大さを感じました。



高原山登山道のササ刈り

9月10日（日）、青木修司さん、倭文廣さんと筆者にて、イヌブナ自然林ハイキングのための下刈りを実施しました。予想以上にヒルが少なくホッとしました。高原山登山道入口から一周できるコースができました。

11月17日（金）に高原山登山道のササ刈りを実施しました。青木修司さん、倭文廣さんと3名で行いました。天候はまずまずでしたが、中腹部では雪がちらほらし、また、地面は凍ったままで寒いです！釈迦ヶ岳に迫るも、手前のイラモミ林で14：30となり、日暮れを考えるとこれ以上の進軍は控えるべきと判断し、下山しました。前山の奥で、登山道がわからないくらいササが繁茂していました。かなりのところでシカの食害が目立つようになっていますが、まだ被害が少ない部分があるようです。来年はもう少し早い時期に実施したいと思います。



ふるさと高原山を愛する集い前日の準備

台風22号が近づき、停滞前線による雨も回避できそうもないため、13時に緊急ミーティングを行いました。

悪天候時には11時から13時にかけて旧玉生中学校体育館にて食材等を配布することとなっていますが、午前の部だけでも催し物を体育館で実施するのか検討しました。見形会長から、大雨が予想される中、バーベキューの食材を取りに来られる方はすぐに戻ってしまうだろうから、来客は見込めないのではないかとということで、催し物は実施しないことに決定しました。そして、実行委員手分けしてバーベキュー申込者、出演者、来賓等に電話連絡をしました。さらに、配布用の資料とお茶等を袋に入れる作業を全員で行いました。来年は悪天候時のときの対応がしっかりできるよう、準備をしなければならないことを学びました。



ふるさと高原山を愛する集い当日の準備と配布

前日、バーベキュー申込者に11～13時に食材等を配布する旨を連絡しておきましたので、ほとんどの方がお越しになりました。

山久さんから食材が届いたら、実行委員16名総動員で仕分け作業を行いました。

塩谷町内では雨でもできるところでバーベキューをやる人が多いそうで、また、会場内で仕分けをされるなど、素晴らしい対応の方々だらけで感動いたしました。参加者の中には「家族でバーベキューをしたくて申し込みました」とか、「えひめ憲一さんのステージを見たかった」等々、心温まるコメントも賜りました。なんと、えひめ憲一さんも雨の中駆けつけてくださいました。本当にありがとうございます。

緑化推進のために準備されたロウバイとヤマグリの苗木も希望者に配布されました。ロウバイが人気でした。



谷畑副会長が、船村徹先生がお越しの際は常に天気が良かったエピソードを披露され、今日の雨は『涙雨』だとおっしゃられましたが、そのとおりだと思いました。初めての悪天候による催し物中止ということで、出演者の皆様には船村徹先生が作曲された曲を猛練習していただいた経緯もあり、本当に残念ですが、来年にリベンジしたいと思いますので、

どうぞよろしく願いいたします。また、来賓の方々には連絡が少し遅れました。バーベキュー申込者を最優先に連絡したとはいえ、来賓の緊急連絡先についても準備する必要があることを痛感いたしました。反省する部分は反省し、来年「ふるさと高原山を愛する集い」を開催したいと思いますので、今後とも皆様のご協力とご参加をどうぞよろしくお願い申し上げます。

(備考)

- ・ふるさと高原山を愛する集い実行委員参加者
見形和久会長、谷畑方夫副会長、漆原敬、小野崎保男、手塚一信、宇賀神一雄、青木修司、和気仲男、斎藤カツ、倭文廣、中山信子、沼尾和史
市川貴大（事務局長）、黒田明典（塩谷町役場山の日担当）、近藤太一郎（塩谷町地域おこし協力隊）
- ・協力団体
塩谷町役場、高原山の自然を守る会、船村徹ふるさと会、花の会、塩谷町写真サークル「あそぼ」、高原山神社、くまの木里山応援団、とちぎ農林倶楽部
- ・ご協賛（ご協賛賜り厚く御礼申し上げます）
とちぎ音の会、ぶんちく、バリアフリー鉄道農園「風だより」
- ・冊子「船村徹先生の想いをつなぐ」は第2回「山の日」記念全国大会連携イベント助成金により作成しました

(写真は市川貴大撮影)

(この報告については雑誌しもつけの心にて連載予定です)